

## 第1部 データ分析WG報告

### 認知症に係わる介護技術評価項目のデータ分析による妥当性の検証

#### (1)目的

認知症とは、「生後、いったん正常に発達した種々の精神機能が慢性的に減退・消失することで、日常生活・社会生活を営めない状態」をいい、原因疾患別に、アルツハイマー型、脳血管型、レビー小体型、前頭側頭葉型などに分類される。わが国の認知症高齢者数は、約200万人と言われているが、そのうち、外来患者数は約30万人と非常に少なく、早期段階における認知症診断(発見・予防)の困難さがうかがえる。

このため介護施設における認知症ケアは、一般に認知症疾患別の症状に応じた効果的な治療・ケアの提供は難しく、個別的な医学的管理・ケアが行われている。

こうした状況の下、認知症の早期確定診断の推進と適切な医療・ケアの提供とともに、診断名(原因疾患)や症状に応じた認知症ケアのあり方を体系的に整理し、介護現場における人材育成が図られることが急務とされている。

これまで、介護技術の評価する取り組みはほとんどなかったが、平成24年度より、内閣府で実践キャリアアップ戦略「介護キャリア段位制度」が実施されている。また一方で、筆者らは、この制度のフレームにそった認知症高齢者に配慮すべき介護技術項目を開発している<sup>1</sup>。

この介護技術項目は、4つのカテゴリー「尊厳保持」、「要因探索」、「情報収集と理解」、「観察」に留意しつつ、キャリア段位介護プロフェッショナルの基本介護技術項目である「入浴介助」、「食事介助」、「排泄介助」に認知症特有な技術として、「活動」を加えて、四つの区分を選定し、これに係る介護技術の評価基準(チェック項目)を専門家によるワーキングチームを組織し、開発されている。

今年度の研究事業においては、この評価項目を用いて実施された調査データを活用して二次分析を実施し、臨床的知見を基に認知症に留意したとされた介護技術項目を統計的な分析から、妥当性の高い技術を選定し、実践キャリアアップ戦略「介護キャリア段位制度」への活用可能性を検討した。

#### (2)方法

今年度の研究事業で取り上げる認知症高齢者に配慮すべき介護技術項目は、平成24年度より内閣府によって検討され始めた介護キャリア段位制度の介護技術評価のフレームワークを活用し、開発されたものである。評価項目の妥当性の検証プロセスの詳細は、図1の通りである。

---

<sup>1</sup> 平成24年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)「認知症の人に関わる医療・介護従事者及び家族の共通理解を図るための支援方策や研修の実態把握についての調査研究事業報告書」平成25年3月ヴェクソンインターナショナル株式会社 p57

図1 分析のプロセス

【分析プロセス】

- ①通過率を算出
- ②通過率が80%以上のものを除く
- ③未実施率が70%以上のものを除く
- ④3段階評価（できる、できる場合とできない場合がある、できない）がないものを除く
- ⑤項目間の相関係数を算出し、相関係数が0.7未満のもの、あるいは、0.7以上となった項目のうちひとつの項目を選択
- ⑥認知症のステージ別（DASCスコア高低別3群）の介護技術の通過率を算出し、認知症の（DASCスコア高低別3群）に実施率の順序性が見られなかったものを除く
- ⑦DASCスコア高低別の介護技術の通過率に統計的な有意差が見られなかったものを除く
- ⑧残された項目と基本介護技術62項目との相関係数を算出し、相関係数が0.4以上のものを除く
- ⑨基本介護技術62項目間の相関係数を算出し、相関係数が0.7以上の項目を抽出。

なお、本報告書における通過率および実施率の定義は、平成24年度の研究事業<sup>2</sup>の定義に則り、以下のように定義した。

「通過率」：全被評価者を対象として、チェック項目毎に「A:できる」・「B:できる場合とできない場合があり、指導を要する」・「C:できない」がついた者のうち、「A」が付いた割合（これを「通過率」とする）を算出し、多くの被評価者が「できる」と評価されたチェック項目の割合を把握した。算定式は以下のようなになる。

「通過率」  $[A] \div \{[A] + [B] + [C]\} (\%)$

「未実施率」：全被評価者を対象にして、チェック項目毎に「-（やっていない）」が付いた割合（未実施率）を算出し、期間中に評価することができなかったチェック項目の割合を把握し

<sup>2</sup>平成24年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）利用者の状態像に応じた介護職における技術評価のレベル分類に関する調査研究事業」株式会社日本能率協会総合研究所

た。算定式は以下のようになる。

$$\text{「未実施率」} = \frac{\text{[-]と評価した人数}}{\{[A]+[B]+[C]+[-]\}} (\%)$$

なお、本分析において認知症の生活機能障害の程度を表す指標として、DASC(Dementia Assessment Sheet in Community-based Integrated Care System:地域包括ケアシステムにおける認知症アセスメント)を用いた。このツールは、短時間に「認知機能障害」と「生活機能障害」を評価でき、認知症のご本人やご家族、認知症専門医等との「共通言語」として活用することが可能とされている<sup>3</sup>。

本分析では、「DASC\_SCORE 60 点未満」、「DASC\_SCORE 60 点以上 70 点未満」、「DASC\_SCORE 70 点以上」の 3 群で認知症に係わる生活機能障害の高低を定義した。

相関係数については、Pearson 相関係数を算出し、DASC スコア高低別の介護技術の通過率の差異については、独立サンプルによる Kruskal-Wallis の検定を実施した。

### (3)結果

本調査の対象が入所していた施設の割合は、介護老人福祉施設が 41.7%で最も高い割合であった。次いで、認知症対応型グループホーム 16.7%、訪問介護事業所、介護老人保健施設が共に 12.5%、小規模多機能型居宅介護 8.3%、地域密着型特定施設、通所介護事業所が共に 4.2%と続いていた(表 1)。

認知症介護技術を提供した職員の性別は、男性 41.7%、女性 58.3%で女性の割合が高かった。年齢の平均値は、41.8 歳で、最も若い職員が 29 歳、最高齢が 63.0 歳であった(表 2)。経験年数は、平均 13.2 年、最小値が 6.0 年で、最も経験年数が長い職員が 24 年であった(表 3)。

介護技術を適切に提供していた割合(以下、通過率と略す)が 90%以上の技術項目が 21 項目であった。通過率 80%以上が 55 項目であった(表 4)。また、当該技術を実施していない(非担当、未実施)が 70%以上の項目が 4 項目あった(表 5)。評価がされなかった項目は 40 項目で、このうち通過率 80%以下が 11 項目と示された(表 6)。これらの分析から、認知症介護技術として「適切でない」とされた項目を減じた結果、257 種類の介護技術から 190 種類が選定された(表 7)。

さらに、項目間の相関係数を算出したところ、他の項目と相関が低い 67 項目(表 8)および複数相関ありのうち残った 50 項目(表 9)の計 117 項目が抽出された。

また、これらの結果を集約し、認知症のステージ(DASC スコアの高低)別に通過率が異なっていないものを除くと 59 種類の項目が選定された(表 10)。

Kruskal-Wallis の検定によって、DASC スコア高低別の介護技術の通過率の差異がなかった項目を除くと、30 種類の項目が選定された(表 11,12)。

<sup>3</sup> 栗田主一. 地域包括ケアシステムを利用した認知症の早期診断システムの推進. 保健医療科学 2012 Vol.61 No.2 p.125-129

そのうえで、基本介護技術との相関が高いものを除くと 8 種類の項目が選定された(表 13)。

また、今回使用した分析データにおける基本介護技術 62 項目間との相関が高いものを抽出したところ 18 種類の項目が選定された(表 14)。

#### (4) 考察及び結論

平成 24 年度に開発された認知症高齢者に配慮すべき 257 の介護技術項目を統計的な分析プロセス経ることで 30 の評価項目を抽出することが出来た。妥当性の高い認知症患者への配慮に対する技術項目を検討したことで、現行の介護キャリア段位制度や認知症介護実践者研修への活用も考えられよう。

しかしながら、一方で介護キャリア段位制度は、すでに多くの項目があり、そのままこれらの項目を加えることが困難であると考えられる。よって、キャリア段位制度に項目を加えるに当たっては、基本介護技術項目との相関が見られなかった 8 項目を優先的に検討することや現行の基本介護技術で相関が高いとされた 18 項目の整理を同時に考えることが必要であろう。

今回は、平成 24 年度に 24 施設で試行的に実施された調査結果を用いた分析を元に件どうそ行っている。今後は、同様の調査を実施することにより、こうした知見をさらに精査し、認知症者に対する介護技術の標準化に関する検討を行う必要があると考えられた。

表 1 調査対象となった機関の種別

	N	%
介護老人福祉施設	10	41.7
認知症対応型グループホーム	4	16.7
訪問介護事業所	3	12.5
介護老人保健施設	3	12.5
小規模多機能型居宅介護	2	8.3
地域密着型特定施設	1	4.2
通所介護事業所	1	4.2
合計	24	100.0

表 2 (認知症の方に介護技術を提供した)介護職員の性別

	N	%
男性	10	41.7
女性	14	58.3
合計	24	100.0

表3 (認知症の方に介護技術を提供した)介護職員の年齢と経験年数

	平均値	標準偏差	最小値	最大値
年齢	41.8	9.2	29.0	63.0
経験年数	13.2	5.0	6.0	24.0

表4 通過率 90%以上あるいは通過率 80%以上の項目

通過率が90%以上の項目				通過率	通過率が80%以上の項目				通過率
1	d_skill_1	Q1X1.1①バイタルサインの測定、確認を行っているか。	87.5	29	d_skill_11	Q2X3.2②時間帯に合せた声かけ※1をしているか。	80.0		
2	d_skill_5	Q1X2.1①入浴に必要な準備をして、入浴することを伝えているか。	86.7	30	d_skill_12	Q2X5.1①本人の食事の席・場所が準備されているかを確認しているか。	88.2		
3	d_skill_6	Q1X2.2②入浴を本人にわかりやすい言葉※1で伝え、本人の意向を確認	82.7	31	d_skill_12	Q2X5.2②本人に食事の席・場所をわかりやすく※1伝えているか。	86.4		
4	d_skill_9	Q1X3.1①入浴のために浴室まで行くことを伝え、移動を促しているか。	93.1	32	d_skill_12	Q2X6.1①はしやスプーンなどを準備し、本人の食事が配膳されたことを伝	94.6		
5	d_skill_10	Q1X3.2②本人にわかりやすい言葉※1で伝え、移動を促しているか。	91.3	33	d_skill_12	Q2X6.2②実物(食事)を示しながら※1伝えているか。	89.0		
6	d_skill_17	Q1X5.2②浴室内外の段差などに注意を促しているか。	86.6	34	d_skill_12	Q2X6.3③実物を目の前にして、食べることを後押しする言葉※2を伝え、	80.0		
7	d_skill_23	Q1X6.2②利用者に声かけ※1、室温や湯温の感触を確認しているか。	83.3	35	d_skill_13	Q2X7.1①食事の始まりを伝え、食べることを促しているか。	91.9		
8	d_skill_26	Q1X7.1①入浴のために衣類を脱ぐことを伝え、脱ぐ際にも声かけをしてい	87.8	36	d_skill_13	Q2X8.1①食事の終わりを伝えているか。	89.2		
9	d_skill_33	Q1X9.1①脱いだ衣類の片づけを適切に行っているか(指定の入れ物や棚な	87.8	37	d_skill_14	Q2X9.1①食後に歯磨きをすることを伝えているか。	80.0		
10	d_skill_36	Q1X10.1①洗身に必要な物品がそろえられているか。	100.0	38	d_skill_14	Q2X9.2②歯磨きを終われば居室へ帰ることを伝えているか。	84.4		
11	d_skill_43	Q1X11.1①シャワーの温度を確認しているか。	94.6	39	d_skill_14	Q2X9.3③洗面所まで誘導し、手順を伝えているか※1。	80.6		
12	d_skill_44	Q1X11.2②シャワーの温度の好みを聞いて、適温に調整しているか。	87.8	40	d_skill_14	Q2X9.4④終了後は再度、居室まで戻ることを伝え、誘導しているか。	91.1		
13	d_skill_46	Q1X11.4④お湯が出る、お湯が身体にかかるということを認識できるように	84.9	41	d_skill_15	Q2X10.1①食事した事実を記録、報告しているか。	97.1		
14	d_skill_48	Q1X12.1①身体を洗うことを伝えているか。	97.3	42	d_skill_16	Q3X2.1①トイレへ行くことを伝えているか。	92.9		
15	d_skill_55	Q1X13.1①浴槽の湯の温度を確認しているか。浴槽へ入ることを伝えてい	94.1	43	d_skill_16	Q3X2.2②排泄の感覚(尿意・便意)の有無や「トイレへ行くか、行かないか	81.7		
16	d_skill_56	Q1X13.2②本人の好む温度を聞いてそのようにして、本人の浴槽への入	81.8	44	d_skill_16	Q3X3.1①トイレを、本人にわかりやすい表現や掲示してある表現※1で伝	84.3		
17	d_skill_57	Q1X13.3③滑り止めマットや手すりなどの確認をしているか。	84.6	45	d_skill_16	Q3X4.1①移動では、利用者の状態に合わせて安全な介助(立ち位置、支え	82.4		
18	d_skill_62	Q1X14.1①湯温は適当か尋ねているか。	87.1	46	d_skill_17	Q3X4.2②移動がうまくいかない場合、時間をおいて再度誘導したり、対応	80.0		
19	d_skill_68	Q1X15.1①今から頭を洗うことを伝えているか。	93.2	47	d_skill_18	Q3X9.1①衣類を下げることを伝えているか。	93.1		
20	d_skill_69	Q1X15.2②お湯をかけるので「目を閉じて下さい」と伝えているか。	90.5	48	d_skill_19	Q3X10.1①排泄終了後、清拭することを伝えているか。	85.1		
21	d_skill_74	Q1X16.1①新しい衣類を準備しているか。	100.0	49	d_skill_19	Q3X11.1①衣類を上げることを伝えているか。	89.0		
22	d_skill_76	Q1X16.3③着衣しやすいように、椅子を準備したりしているか。	88.3	50	d_skill_20	Q3X11.3③排泄が無事済んだことを伝えながら※1、素早く衣類を整えて	85.1		
23	d_skill_85	Q1X17.1①整容に必要な物品を準備しているか。	94.6	51	d_skill_20	Q3X12.1①手を洗うことを伝えているか。	84.6		
24	d_skill_86	Q1X17.2②髪を乾かすなどこれからすることを伝えているか。	93.2	52	d_skill_20	Q3X12.2②手洗いの場所を知らせて、手洗いを促しているか。	82.8		
25	d_skill_91	Q1X18.1①入浴終了を伝えるとともに後の移動先を伝え、移動を促してい	86.5	53	d_skill_21	Q3X14.1①排泄後の移動先を伝え、移動を促しているか。	85.3		
26	d_skill_98	Q1X19.1①入浴した事実を記録、報告しているか。	94.3	54	d_skill_21	Q3X15.1①排泄した事実を記録、報告しているか。	98.7		
27	d_skill_102	Q2X1.1①これから食事であることを伝えているか。	94.8	55	d_skill_24	Q4X8.1①活動の終了を伝えているか。	89.1		
28	d_skill_112	Q2X3.1①食事のために食堂へ行くことを伝え、移動を促しているか。	90.0						

表5 実施していない(非担当、未実施)が70%以上の項目

	できる		できる場合とできない場合がある(要指導)		できない		実施していない(非担当、未実施)		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
d_skill_177	Q3X6.1①和式がいいか 洋式がいいか尋ねているか。									
	2	2.4		0.0	4	4.9	76	92.7	82	100
d_skill_178	Q3X6.2②和式であれば、「便器をまたぐこと、しゃがむこと」を伝えて、できるところは自分でしてもらっているか。									
	2	2.4		0.0	1	1.2	79	96.3	82	100
d_skill_179	Q3X6.3③またぐ時などのふらつきに注意を払い、安定した姿勢かを確認しているか。									
	2	2.4		0.0	1	1.2	79	96.3	82	100
d_skill_180	Q3X7.1①和式がいいか 洋式がいいか尋ねているか。									
	1	1.2		0.0	10	12.2	71	86.6	82	100

表 6 3段階評価なしの項目は40項目

		できる場合とできない場合がある(要指導)		できない				できる場合とできない場合がある(要指導)		できない	
		N	%	N	%			N	%	N	%
d_skill_5	Q1X2.1①入浴に必要な準備をして、入浴することを伝えているか。	10	12.2			d_skill_98	Q1X19.1①入浴した事実を記録、報告しているか。	4	4.9		0.0
d_skill_9	Q1X3.1①入浴のために浴室まで行くことを伝え、移動を促している	5	6.1		0.0	d_skill_10	Q2X1.1①これから食事であることを伝えているか。	4	4.9		0.0
d_skill_10	Q1X3.2②本人にわかりやすい言葉※1で伝え、移動を促しているか	6	7.3		0.0	d_skill_11	Q2X3.1①食事のために食堂へ行くことを伝え、移動を促しているか	6	7.3		0.0
d_skill_12	Q1X3.4④移動では、利用者の状態に合わせて安全な介助(立ち位	14	17.1		0.0	d_skill_11	Q2X4.1①移動では、利用者の状態に合わせて安全な介助(立ち位	16	19.5		0.0
d_skill_18	Q1X5.3③移動では、利用者の状態に合わせて安全な介助(立ち位	14	17.1		0.0	d_skill_11	Q2X4.4④利用者の状態に合わせ、手招きや文字に書いて※1移	21	25.6		0.0
d_skill_23	Q1X6.2②利用者に声かけ※1、室温や湯温の感触を確認してい	12	14.6		0.0	d_skill_12	Q2X5.1①本人の食事の席・場所が準備されているかを確認してい	8	9.8		0.0
d_skill_26	Q1X7.1①入浴のために衣類を脱ぐことを伝え、脱ぐ際にも声かけを	9	11.0		0.0	d_skill_12	Q2X6.1①はしやスプーンなどを準備し、本人の食事が配膳された	4	4.9		0.0
d_skill_33	Q1X9.1①脱いだ衣類の片づけを適切にしているか(指定の入れ物	9	11.0		0.0	d_skill_12	Q2X6.2②実物(食事)を示しながら※1伝えているか。	8	9.8		0.0
d_skill_36	Q1X10.1①洗身に必要な物品がそろえられているか。		0.0		0.0	d_skill_12	Q2X6.3③実物を目の前にして、食べることを後押しする言葉※2を	14	17.1		0.0
d_skill_37	Q1X10.2②「シャンプー」や「リンス」などが元々のラベルとは別に、利用者		0.0	24	29.3	d_skill_13	Q2X7.1①食事の始まりを伝え、食べることを促しているか。	6	7.3		0.0
d_skill_43	Q1X11.1①シャワーの温度を確認しているか。	4	4.9		0.0	d_skill_13	Q2X7.3③途中で食べる動作が止まった時など、声をかけながら※	15	18.3		0.0
d_skill_48	Q1X12.1①身体を洗うことを伝えているか。	2	2.4		0.0	d_skill_16	Q3X2.1①トイレへ行くことを伝えているか。	5	6.1		0.0
d_skill_64	Q1X14.3③気分が悪くないかなど体調にも配慮でき、安全な姿勢	15	18.3		0.0	d_skill_16	Q3X4.1①移動では、利用者の状態に合わせて安全な介助(立ち位	12	14.6		0.0
d_skill_68	Q1X15.1①今から頭を洗うことを伝えているか。	5	6.1		0.0	d_skill_17	Q3X6.1①和式がいいか洋式がいいか尋ねているか。		0.0	4	4.9
d_skill_69	Q1X15.2②お湯をかけるので「目を閉じて下さい」と伝えているか。	7	8.5		0.0	d_skill_17	Q3X6.2②和式であれば、「便器をまたくこと、しゃがむこと」を伝えて、できる		0.0	1	1.2
d_skill_74	Q1X16.1①新しい衣類を準備しているか。		0.0		0.0	d_skill_17	Q3X6.3③またく時などのふらつきに注意を払い、安定した姿勢を確認して		0.0	1	1.2
d_skill_84	Q1X16.11①本人の状態に適した対応をしているか※6。	25	30.5		0.0	d_skill_18	Q3X7.1①和式がいいか洋式がいいか尋ねているか。		0.0	10	12.2
d_skill_85	Q1X17.1①整容に必要な物品を準備しているか。	4	4.9		0.0	d_skill_18	Q3X9.1①衣類を下げることを伝えているか。	5	6.1		0.0
d_skill_86	Q1X17.2②髪を乾かすなどこれからすることを伝えているか。	5	6.1		0.0	d_skill_21	Q3X15.1①排泄した事実を記録、報告しているか。	1	1.2		0.0
d_skill_91	Q1X18.1①入浴終了を伝えるとともに後の移動先を伝え、移動を促	10	12.2		0.0	d_skill_24	Q4X8.1①活動の終了を伝えているか。	7	8.5		0.0

表 7 統計的な分析によって適切でないとされた項目を除いた認知症の方への介護技術評価項目(190項目)

1	d_skill_2	Q1X1.2②食事量や体調の確認※1を行っているか。
2	d_skill_3	Q1X1.3③「体調の良し悪し」を確認できるような声かけをしているか。
3	d_skill_4	Q1X1.4④本人が入浴の見当をつけられるような生活の中の事柄と結びつけた声かけ※2 や工夫※3 を行っているか。
4	d_skill_7	Q1X2.3③着替えの選択を頼んだり、好みを確認したりしているか。
5	d_skill_8	Q1X2.4④準備を一緒にしながら、入浴への意識を継続的に高めているか※2。
6	d_skill_11	Q1X3.3③着替えなどの準備したものを持ってきて確認してもらっているか。
7	d_skill_13	Q1X4.1①移動がうまくいかない場合、時間をおいて再度誘導したり、対応する職員を替えて誘導しているか。
8	d_skill_14	Q1X4.2②移動がうまくいかない場合、“入浴という言葉を使わず、手招きで移動を促し”たり、“準備していた着替えを一緒に見直す”などの方法で再度促しているか。
9	d_skill_15	Q1X4.3③利用者の状態に合わせ、手招きや文字に書いて移動を促したり、動作の順を追うような声かけなどして、動作を一つずつ乗り越えるよう工夫しながら誘導しているか。
10	d_skill_16	Q1X5.1①待機時に声かけをしているか。
11	d_skill_19	Q1X5.4④利用者の状態などを、他の職員に的確に伝えているか。
12	d_skill_20	Q1X5.5⑤利用者の行動が止まらないような、わかりやすい声かけ※1をしているか。
13	d_skill_21	Q1X5.6⑥途中で何をしているのかわからなくなったときには、適切な声かけ※2 ができているか。
14	d_skill_22	Q1X6.1①室温や湯温を温度計などで確認しているか。

15	d_skill_24	Q1X6.3③利用者の状態にあわせ、室温などの調整をしているか。
16	d_skill_25	Q1X6.4④利用者が不安定にならないよう配慮し※2、浴室の環境を整えているか。
17	d_skill_27	Q1X7.2②「脱健着患」を意識して対応しているか。
18	d_skill_28	Q1X7.3③人の出入りを最小限にして、バスタオルなどで身体を覆うことも伝えながら、脱衣を手伝っているか。
19	d_skill_29	Q1X7.4④脱衣を急がせず、また真正面には立たないなど、本人に「みられている」と意識させないよう、別のことをしながら見守っているか。
20	d_skill_30	Q1X7.5⑤かぶり物の衣類を頭から抜く時や下着を脱ぐときなど、恐怖感や羞恥心を抱かせないように配慮するとともに、適切な声かけ※1 ができているか。
21	d_skill_31	Q1X8.1①できにくいところを手伝うことを伝えているか。
22	d_skill_32	Q1X8.2②時間がかかりすぎている時は、声かけ※1 を行うとともに、できない部分を見極めて手伝っているか。
23	d_skill_34	Q1X9.2②脱いだ衣類について、気にしないように声かけ※1 しているか。
24	d_skill_35	Q1X9.3③脱いだ衣類を渡すことを拒まれた場合、介護職員がこだわると「物盗られ妄想」のきっかけになったりするという認識し、本人の置きたい場所を優先して対応しているか。
25	d_skill_38	Q1X10.3③今までの習慣※1 に合わせた準備となっているか。
26	d_skill_39	Q1X10.4④シャンプーなどと明記された物が目につきやすい場所に見えるように置かれているか。
27	d_skill_40	Q1X10.5⑤習慣に合わせたものが準備されており、これをわかりやすく伝えているか※2。
28	d_skill_41	Q1X10.6⑥シャンプーなどの置き場所を示す声かけ※3 をし、実物を見せながら置き場所の確認をしているか。
29	d_skill_42	Q1X10.7⑦タオルを直接渡して次の動作へつなぐ言葉※4 も添えているか。
30	d_skill_45	Q1X11.3③シャワーの温度調整をしたあとに自分で確認してもらうように促しているか。蛇口の場所や温度調整の仕方を説明しているか。
31	d_skill_47	Q1X11.5⑤びっくりしたり嫌がったりする表情や動作※2 があつたら、動作が先に進めるように前向きな声かけ※3 をしているか。
32	d_skill_49	Q1X12.2②洗う順序※1 を伝えているか。
33	d_skill_50	Q1X12.3③自分で洗い出すことができたなら、本人の前などではなく見えないところで見守っているか。
34	d_skill_51	Q1X12.4④次の動作※2 を細かく伝えているか。
35	d_skill_52	Q1X12.5⑤強弱のコントロールができるような声かけ※3 をしているか。
36	d_skill_53	Q1X12.6⑥洗身ができにくそうであれば、本人の手に介助者が手を添えながらと一緒に洗い※4、1人でできるようになれば手を添えることをやめているか。この繰り返しができているか。
37	d_skill_54	Q1X12.7⑦経過時間※5 を伝えることで、自分で洗う速さを調整できるような声かけをしているか。
38	d_skill_58	Q1X13.4④入る前に自分でお湯の温度を確かめるように促しているか。入るときは手すりを先に握ってもらっているか。
39	d_skill_59	Q1X13.5⑤浴槽へはゆっくりと自分で入るように伝えて、そのあとは急がせていないか。

40	d_skill_60	Q1X13.6⑥浴槽の湯の高さをあらかじめ本人に合わせて調整しているか。本人の入りを優先しているか※1
41	d_skill_61	Q1X13.7⑦入り方がわからず躊躇している時は、ジェスチャーで伝えるなどの工夫をしているか。体調や様子により、シャワー浴のみで終わるという判断もしているか。
42	d_skill_63	Q1X14.2②湯温の調整(ぬるめたり、熱くしたり)ができることを伝えながら行っているか。
43	d_skill_65	Q1X14.4④時間の予告※1をして、時間になれば声をかけてあがってもらっているか。
44	d_skill_66	Q1X14.5⑤浴槽に入って予定時間が過ぎたことを伝えて、自分であがることを意識し、決められるように声をかけているか。
45	d_skill_67	Q1X14.6⑥浴槽内で立ち上がる手順を伝えているか※2。
46	d_skill_70	Q1X15.3③シャワーの音や強さに驚かないように伝えているか。かゆみや気持ち悪いところを尋ねてすっきりできるようにしているか。
47	d_skill_71	Q1X15.4④強弱の調整をしているか。短時間で終了しているか。
48	d_skill_72	Q1X15.5⑤シャワーを使わず、洗面器でお湯を流すという判断もしているか。今回は洗髪はしないという判断もしているか。
49	d_skill_73	Q1X15.6⑥自分でも頭を洗うように声をかけ促しているか。耳栓を使うなどで恐怖心を和らげる工夫をしているか。
50	d_skill_75	Q1X16.2②タオルを手渡しているか。
51	d_skill_77	Q1X16.4④新しい衣類は着る順番に並べ(重ねる)ているか。
52	d_skill_78	Q1X16.5⑤着衣の順を追った声かけをしているか※1。
53	d_skill_79	Q1X16.6⑥浴室内でタオルを手渡し露出を少なくし、身体を覆いながら拭いているか。
54	d_skill_80	Q1X16.7⑦本人がうまく拭けない場合は、本人にも拭いてもらいながら、手伝いの声かけ※2をしてから、別のタオルで手早く拭いているか(本人のタオルを取り上げない)。
55	d_skill_81	Q1X16.8⑧着る順番がわからないときは、順に手渡して着てもらうように促しているか※3。
56	d_skill_82	Q1X16.9⑨自分の衣類ではないと思われることもあるため、確認したり、適切に対応しているか※4。
57	d_skill_83	Q1X16.10⑩利用者に負担のない速さで実施しているか※5。
58	d_skill_87	Q1X17.3③くしやブラシを選んでもらったりしているか。
59	d_skill_88	Q1X17.4④自分ですか、任せてもらうかなどを確認しているか。
60	d_skill_89	Q1X17.5⑤(自分で使う場合)ドライヤーの使い方を説明したり、ドライヤーの音や熱に注意するように伝えているか。
61	d_skill_90	Q1X17.6⑥利用者の状態に適した対応をしているか※1。
62	d_skill_92	Q1X18.2②入浴後の気持ち※1などを尋ねながら、口渇などについて聞いているか。
63	d_skill_93	Q1X18.3③水分補給について※2 伝えているか。
64	d_skill_94	Q1X18.4④次の行動の予告※3をしているか。
65	d_skill_95	Q1X18.5⑤入浴後の体調、バイタルなどに変化がないか確認しているか(聞いているか)。



66	d_skill_96	Q1X18.6⑥行動の区切り※4 を伝えて、次回の入浴の予定日を伝えたり、次回に向けての希望を聞いた りしているか。
67	d_skill_97	Q1X18.7⑦利用者の状態に応じた対応をしているか※5。
68	d_skill_99	Q1X19.2②一連の様子や本人の話されたことなども記録、報告しているか。
69	d_skill_100	Q1X19.3③いつもと違う状態の気づきなどを記録、報告しているか。
70	d_skill_101	Q1X19.4④具体的な事柄を記入し、それに対して考えられることまで記入しているか。
71	d_skill_103	Q2X1.2②(朝・昼・夕)の食事であること伝えているか。
72	d_skill_104	Q2X1.3③時間と共に※1 伝えているか。
73	d_skill_105	Q2X1.4④食事に気持ちを向けるような具体的な声かけ※2 をしているか。
74	d_skill_106	Q2X1.5⑤食事以外の事柄※3 などで、本人の見当識に関わる声かけをしているか。
75	d_skill_107	Q2X1.6⑥本人の不安を軽減するような声かけをしているか※4。
76	d_skill_108	Q2X2.1①体調の確認は行っているか。
77	d_skill_109	Q2X2.2②本人に、「体調の変調の有無」や「食事は食べられるか否か」などを確認しているか。
78	d_skill_110	Q2X2.3③バイタルや直前の食事量や食べている間の様子、所要時間や集中力などを確認しているか。
79	d_skill_111	Q2X2.4④反応が鈍かったりした場合などは、認知症の症状と身体疾患の不調との見極めが行えるよう に関わっているか※1。
80	d_skill_114	Q2X3.3③本人に食事のことを具体的に伝えたり※2、行き先がわかりやすく伝えられ、移動を促している か。
81	d_skill_115	Q2X3.4④利用者の状態に合わせ、手招きや文字に書いて移動を促したり、動作の順を追うような声かけ などして、動作を一つずつ乗り越えるよう工夫しながら誘導しているか。
82	d_skill_117	Q2X4.2②移動がうまくいかない場合、時間をおいて再度誘導したり、対応する職員を替えて誘導してい るか。
83	d_skill_118	Q2X4.3③移動がうまくいかない場合、食事という言葉を使わず、手招きで移動を促したり、矢印で行き先 を示す等、再度促しているか。
84	d_skill_122	Q2X5.3③落ち着く準備などの食事環境※2 を確認しているか。
85	d_skill_123	Q2X5.4④着席から配膳されるまでの時間、気持ちがそれたり、集中力が途切れないようにしているか※ 3。
86	d_skill_124	Q2X5.5⑤本人の食事と他者の食事が混同する場合を想定して、自分の食事がわかる対応をしているか ※4。
87	d_skill_128	Q2X6.4④配膳される順番に気をつけているか※4。
88	d_skill_129	Q2X6.5⑤本人の動作を待ち、声かけは少なくして静かに見守っているか※5。
89	d_skill_131	Q2X7.2②聞き慣れた「食事の始まり」の言葉※1 を強調して伝えているか。
90	d_skill_133	Q2X7.4④食事中は何を食べているかを伝えながら※3、食べられないもの(バラン・骨など)を取り除いた りして、食事を勧めているか。
91	d_skill_134	Q2X7.5⑤箸などが使いこなせているかを確認したり、同じ器の物ばかり食べている時は別の器を勧めて

		いるか。
92	d_skill_135	Q2X7.6⑥口腔内に詰め込み過ぎないかを確認したり、飲み込みはできているかを確認したり、噛むこと、飲み込むことなどを伝えたりしているか。
93	d_skill_136	Q2X7.7⑦一口量の調整を促したり、食べこぼしをさりげなく拭きとったりなど、様々なことに着目し、それぞれ確認しながら見守りをしているか。
94	d_skill_137	Q2X7.8⑧動作が止まった時には、もう一度食べる動作を促したり、「ごっくん」と飲み込む言葉を伝えたり、④～⑦のことが関係しているかを考えてもう一度確認をしているか。
95	d_skill_138	Q2X7.9⑨集中力持続のため、あえて声はかけない選択をしたり、繰り返し、同じ言葉※4 で食べることに集中できるように声をかけたりしているか。
96	d_skill_140	Q2X8.2②口腔内に食べ物が残っていないか確認しているか。
97	d_skill_141	Q2X8.3③食事を終えたことを伝え、感想(おいしかったなど)や満腹に感じているかなど認識や感覚を確かめているか。
98	d_skill_142	Q2X8.4④自分で下膳ができるように工夫※1 をしているか。
99	d_skill_143	Q2X8.5⑤食後の体調変化などを確認する声をかけているか※2。
100	d_skill_144	Q2X8.6⑥食事が終了後から話を展開し、これからのことへの意見や回答を求めたり※3、その話をすることで食事の終わりであることの認識に働きかけているか。
101	d_skill_149	Q2X9.5⑤歯磨きという言葉は使わないで誘導したり※2、あるいは現物をみてもらい※3、理解を促しているか。
102	d_skill_150	Q2X9.6⑥洗面所でも一つずつの動作を伝えて※4、自分でできるようにしているか。
103	d_skill_151	Q2X9.7⑦本人が自分の動作が理解できるように促しているか※5。
104	d_skill_152	Q2X9.8⑧一つひとつの行動を声をかけて促したりし、また、これからの行動を呼び掛けたり、紙に書いて読んでもらったりして自分で気づく工夫※6 をしているか。
105	d_skill_154	Q2X10.2②一連の様子や本人の話されたことなども記録、報告しているか。
106	d_skill_155	Q2X10.3③いつもと違う状態の気づきなどを記録、報告しているか。
107	d_skill_156	Q2X10.4④具体的な事柄を記入し、それに対して考えられることまで記入しているか。
108	d_skill_157	Q3X1.1①体調や排泄に関する薬の情報などを確認しているか。
109	d_skill_158	Q3X1.2②最近の排泄パターンを確認しているか。
110	d_skill_159	Q3X1.3③排泄パターンにとらわれず、我慢している様子や落ち着かない様子などに気づき、声をかけているか※1。
111	d_skill_160	Q3X1.4④緊張感を持たせないような話※2 をしたり、徐々に関わるようにする※3 などの対応をしているか。
112	d_skill_163	Q3X2.3③トイレが空いていることを確認して、必要な物品(パットなど)も準備した上で、意識しやすいような声かけ※1 をしているか。
113	d_skill_164	Q3X2.4④利用者の状態に合わせ、“トイレという言葉を使わない選択”と、“言葉で伝える選択”の両方を使い分けているか。

114	d_skill_166	Q3X3.2②掲示してある表現を本人に確認してもらいながら※2、声をかけて※3 誘導しているか。
115	d_skill_167	Q3X3.3③本人にトイレの意識をさせないようにしながら、さり気ない様子で声かけをするなどの工夫※4 をしているか。
116	d_skill_168	Q3X3.4④別の動きの流れ※5 で、行く理由を別のものに置き換える※6 などをしてしながら誘導しているか。
117	d_skill_171	Q3X4.3③移動がうまくいかない場合、「トイレ」などの言葉を使わず、手招きで移動を促したり、絵やマークなどを一緒に探す等、再度促しているか。
118	d_skill_172	Q3X4.4④利用者の状態に合わせ、手招きや文字に書いて※1 移動を促したり、動作の順を追う※2 ような声かけなどして、動作を一つずつ乗り越えるよう工夫しながら誘導しているか。
119	d_skill_173	Q3X5.1①トイレの仕組み(鍵の開閉、照明のスイッチ、水を流すレバー、トイレットペーパーの位置など)を伝えているか。
120	d_skill_174	Q3X5.2②トイレの仕組みを伝えながら、一緒に実際行っているか。
121	d_skill_175	Q3X5.3③トイレの仕組みを伝えるが、何か一つだけでも自分でしてもらおうようにしているか※1。
122	d_skill_176	Q3X5.4④わからなくなることで混乱させないように、トイレに手順の張り紙をしたり工夫※2 をしながら、自分でできるように支援しているか。
123	d_skill_181	Q3X7.2②洋式であれば、「便器のふたを開けたりすること、身体の向きを変えなければいけないこと」を伝えて、できるところは自分でしてもらっているか。
124	d_skill_182	Q3X7.3③恐怖心や安全確保に配慮した対応※1 をしているか。
125	d_skill_183	Q3X7.4④座ったあとは、安定した姿勢であるかを確認しているか。
126	d_skill_184	Q3X8.1①排泄時には「プライバシーに配慮して出て待つ」か、「安全を確保するため中で待つ」を説明し、どちらかの了解を得ているか。
127	d_skill_185	Q3X8.2②「排泄してもいいですよ」と声をかけているか。
128	d_skill_186	Q3X8.3③長時間になった場合の重心のブレや立ち上がる時の支えなどを行っているか。
129	d_skill_187	Q3X8.4④外で待っている場合は、声をかけて※1 確認しているか。
130	d_skill_189	Q3X9.2②衣類を自分で下げて、できにくい部分だけを手伝うことを伝えて、了解をもらっているか。
131	d_skill_190	Q3X9.3③意識しないように別の話をしたり、正面に立たずに下げるなどの配慮をしているか。
132	d_skill_191	Q3X9.4④転倒ないように手すりの位置を伝えたりしながら、自分でできるように環境を活用し、その様子を見守っているか。
133	d_skill_193	Q3X10.2②清拭を自分で行い、できにくい部分だけ手伝うことを伝えて、了解をもらっているか。
134	d_skill_194	Q3X10.3③自分で行う場合、ペーパーの設置場所を伝えて自分で切ってもらうか、適切な長さのペーパーを手渡しているか。
135	d_skill_195	Q3X10.4④ペーパーの使い方を伝えているか。
136	d_skill_196	Q3X10.5⑤自分でしてもらおうようにするか、介助者が行うか※1 を負担を考えて判断しているか。
137	d_skill_197	Q3X10.6⑥判断した結果を本人に説明しているか。
138	d_skill_198	Q3X10.7⑦本人には声をかける※2 半面、声かけは最小限にとどめるという両方を使い分けているか。
139	d_skill_200	Q3X11.2②衣類を自分で上げて、できにくい部分だけを手伝うことを伝えて了解をもらっているか。

140	d_skill_202	Q3X11.4④転倒しないように手すりの位置を伝えたりしながら、自分でできるように環境を活用し、その様子を見守っているか。
141	d_skill_205	Q3X12.3③蛇口や石鹸、手拭きタオルなどを説明しながら、手洗いの動作を一つずつ、自分でしてもらえらるように促しているか。
142	d_skill_206	Q3X12.4④手洗いの前に驚かないように声をかけているか※1。
143	d_skill_207	Q3X12.5⑤しっかり洗うように※2 声をかけたり、一緒に手を添えて洗っているか。
144	d_skill_208	Q3X13.1①排泄後の様子、バイタルなどに変化がないか確認しているか。
145	d_skill_209	Q3X13.2②排泄が終わったことを伝え、体調などについて聞いているか。
146	d_skill_211	Q3X14.2②排泄後、感想など※1 を聞きながら、次の行動の声かけ※2 をしているか。
147	d_skill_212	Q3X14.3③次の排泄に向けての声かけ※3 をしているか。
148	d_skill_213	Q3X14.4④自力歩行や自走の人でも、排泄直後に血圧の変動などの変化があることを知り、適切な移動手段を選んでいるか。
149	d_skill_215	Q3X15.2②一連の様子や本人の話されたことなども記録、報告しているか。
150	d_skill_216	Q3X15.3③いつもと違う状態の気づきなどを記録、報告しているか。
151	d_skill_217	Q3X15.4④具体的な事柄を記入し、それに対して考えられることまで記入しているか。
152	d_skill_218	Q4X1.1①前回(最近)の活動状況を記録などで確認しているか。
153	d_skill_219	Q4X1.2②興味や関心のあることを事前に本人に聞くなどしているか。
154	d_skill_220	Q4X1.3③参加の意思をその都度確認しているか。
155	d_skill_221	Q4X1.4④興味や関心のあることにとらわれず、様々な活動の準備も同時にしているか。
156	d_skill_222	Q4X2.1①活動に利用する道具などを準備しているか。
157	d_skill_223	Q4X2.2②活動に必要な道具などは何かを、本人と一緒に話したり考えたりしているか。
158	d_skill_224	Q4X2.3③活動に利用する道具や材料などを一緒に運んだりするなど、準備段階から参加してもらっているか。
159	d_skill_225	Q4X2.4④準備している間もこれから何をするのかを説明したりして、目的を伝えているか。
160	d_skill_226	Q4X3.1①バイタルや体調の確認をしているか。
161	d_skill_227	Q4X3.2②体調について尋ねたりして、活動に参加するかどうかを自分で決められるようにしているか。
162	d_skill_228	Q4X3.3③活動のイメージしてもらえるように内容を説明※1 した上で、体調などとも合わせて参加の意向を確認しているか。
163	d_skill_229	Q4X3.4④本人に参加の意思があっても、体調などにより参加しないという判断もしているか。
164	d_skill_230	Q4X4.1①活動の開始を伝えているか。
165	d_skill_231	Q4X4.2②活動の開始を具体的に伝えているか※1。
166	d_skill_232	Q4X4.3③参加する意識が高まるような声かけ※2、モチベーションを上げるような声かけ※3 をしているか。
167	d_skill_233	Q4X4.4④本人が自分で気付いたり、行動を起こせるような工夫※4 をしているか。
168	d_skill_234	Q4X5.1①活動内容を説明して開始しているか。

169	d_skill_235	Q4X5.2②活動内容を実際に見せたりして、これからすることをわかりやすく伝える工夫をしているか。
170	d_skill_236	Q4X5.3③「今何をしているのか」を認識できるように話しかけ※1、参加・離脱の意思表示ができるような声かけをしているか。
171	d_skill_237	Q4X5.4④準備されたことをするだけでなく、本人が自分の力で考える時間が持てるような声かけ※2をしているか。
172	d_skill_238	Q4X6.1①活動中に声をかけているか。
173	d_skill_239	Q4X6.2②活動中は、励まし※1 や後押し※2 の言葉を多く使っているか。
174	d_skill_240	Q4X6.3③活動中に本人の様子に合わせて、より参加しやすい状況※3 を作っているか。
175	d_skill_241	Q4X6.4④活動中に声をかけるばかりではなく、声をかけずに見守り、本人の集中力を妨げないような使い分けをしているか。
176	d_skill_242	Q4X7.1①活動中に周囲や他者の様子も伝えているか。
177	d_skill_243	Q4X7.2②周囲の様子を具体的に伝えているか※1。
178	d_skill_244	Q4X7.3③活動中の周囲の様々なことを伝える※2 ことで、他者に関心を持てたり、他者への配慮ができるような場面を作っているか。
179	d_skill_245	Q4X7.4④本人同士での会話に気付いたら、間に入るような声かけは控えて本人同士に任せているか。
180	d_skill_247	Q4X8.2②時刻を示して※1、活動の終わりを伝えているか。
181	d_skill_248	Q4X8.3③感想※2 を話してもらうなどの時間を作り、すぐに解散しないで(急な場面展開をせず)、身体や頭をリラックスさせる時間を作っているか。
182	d_skill_249	Q4X8.4④活動について振り返りを行っているか※3。
183	d_skill_250	Q4X9.1①使われた物品などを、一緒に片づけているか。
184	d_skill_251	Q4X9.2②使用した物品などの片づけを、本人に促しているか※1。
185	d_skill_252	Q4X9.3③使用した物品などを一緒に片づけながら、感想を話したり、次回に向けての要望を尋ねたりしているか。
186	d_skill_253	Q4X9.4④本人を励まし※2 ながら、物品の不足の確認など、片づけ自体も活動と捉えて本人に促しているか。
187	d_skill_254	Q4X10.1①活動した事実を記録、報告しているか。
188	d_skill_255	Q4X10.2②一連の様子や本人の話されたことなども記録、報告しているか。
189	d_skill_256	Q4X10.3③いつもと違う状態の気づきなどを記録、報告しているか。
190	d_skill_257	Q4X10.4④具体的な事柄を記入し、それに対して考えられることまで記入しているか。

表 8 他の項目と相関が低い(0.7 未満)項目 (67 項目)

1	d_skill_4	Q1X1.4④本人が入浴の見当をつけられるような生活の中の事柄と結びつけた声かけ※2 や工夫※3 を行っているか。
2	d_skill_16	Q1X5.1①待機時に声かけをしているか。
3	d_skill_19	Q1X5.4④利用者の状態などを、他の職員に的確に伝えているか。
4	d_skill_20	Q1X5.5⑤利用者の行動が止まらないような、わかりやすい声かけ※1 をしているか。
5	d_skill_21	Q1X5.6⑥途中で何をしているのかわからなくなったときには、適切な声かけ※2 ができているか。
6	d_skill_27	Q1X7.2②「脱健着患」を意識して対応しているか。
7	d_skill_34	Q1X9.2②脱いだ衣類について、気にしないように声かけ※1 しているか。
8	d_skill_35	Q1X9.3③脱いだ衣類を渡すことを拒まれた場合、介護職員がこだわると「物盗られ妄想」のきっかけになったりするということを認識し、本人の置きたい場所を優先して対応しているか。
9	d_skill_39	Q1X10.4④シャンプーなどと明記された物が目につきやすい場所に見えるように置かれているか。
10	d_skill_41	Q1X10.6⑥シャンプーなどの置き場所を示す声かけ※3 をし、実物を見せながら置き場所の確認をしているか。
11	d_skill_42	Q1X10.7⑦タオルを直接渡して次の動作へつなぐ言葉※4 も添えているか。
12	d_skill_45	Q1X11.3③シャワーの温度調整をしたあとに自分で確認してもらうように促しているか。蛇口の場所や温度調整の仕方を説明しているか。
13	d_skill_47	Q1X11.5⑤びっくりしたり嫌がったりする表情や動作※2 があつたら、動作が先に進めるように前向きな声かけ※3 をしているか。
14	d_skill_50	Q1X12.3③自分で洗い出すことができたなら、本人の前などではなく見えないところで見守っているか。
15	d_skill_52	Q1X12.5⑤強弱のコントロールができるような声かけ※3 をしているか。
16	d_skill_53	Q1X12.6⑥洗身ができにくそうであれば、本人の手に介助者が手を添えながらと一緒に洗い※4、1人でできるようになれば手を添えることをやめているか。この繰り返しができているか。
17	d_skill_54	Q1X12.7⑦経過時間※5 を伝えることで、自分で洗う速さを調整できるような声かけをしているか。
18	d_skill_60	Q1X13.6⑥浴槽の湯の高さをあらかじめ本人に合わせて調整しているか。本人の入りを優先しているか※1
19	d_skill_61	Q1X13.7⑦入り方がわからず躊躇している時は、ジェスチャーで伝えるなどの工夫をしているか。体調や様子により、シャワー浴のみで終わるという判断もしているか。
20	d_skill_63	Q1X14.2②湯温の調整(ぬるめたり、熱くしたり)ができることを伝えながら行っているか。
21	d_skill_65	Q1X14.4④時間の予告※1 をして、時間になれば声をかけてあがってもらっているか。
22	d_skill_66	Q1X14.5⑤浴槽に入って予定時間が過ぎたことを伝えて、自分であがることを意識し、決められるように声をかけているか。
23	d_skill_72	Q1X15.5⑤シャワーを使わず、洗面器でお湯を流すという判断もしているか。今回は洗髪はしないという判断もしているか。
24	d_skill_73	Q1X15.6⑥自分でも頭を洗うように声をかけ促しているか。耳栓を使うなどで恐怖心を和らげる工夫をし

		ているか。
25	d_skill_77	Q1X16.4④新しい衣類は着る順番に並べ(重ねる)ているか。
26	d_skill_82	Q1X16.9⑨自分の衣類ではないと思われることもあるため、確認したり、適切に対応しているか※4。
27	d_skill_87	Q1X17.3③くしやブラシを選んでもらったりしているか。
28	d_skill_88	Q1X17.4④自分ですか、任せてもらうかなどを確認しているか。
29	d_skill_89	Q1X17.5⑤(自分で使う場合)ドライヤーの使い方を説明したり、ドライヤーの音や熱に注意するように伝えているか。
30	d_skill_96	Q1X18.6⑥行動の区切り※4 を伝えて、次回の入浴の予定日を伝えたり、次回に向けての希望を聞いたりしているか。
31	d_skill_106	Q2X1.5⑤食事以外の事柄※3などで、本人の見当識に関わる声かけをしているか。
32	d_skill_107	Q2X1.6⑥本人の不安を軽減するような声かけをしているか※4。
33	d_skill_108	Q2X2.1①体調の確認は行っているか。
34	d_skill_109	Q2X2.2②本人に、「体調の変調の有無」や「食事は食べられるか否か」などを確認しているか。
35	d_skill_110	Q2X2.3③バイタルや直前の食事量や食べている間の様子、所要時間や集中力などを確認しているか。
36	d_skill_111	Q2X2.4④反応が鈍かったりした場合などは、認知症の症状と身体疾患の不調との見極めが行えるように関わっているか※1。
37	d_skill_117	Q2X4.2②移動がうまくいかない場合、時間をおいて再度誘導したり、対応する職員を替えて誘導しているか。
38	d_skill_124	Q2X5.5⑤本人の食事と他者の食事が混同する場合を想定して、自分の食事がわかる対応をしているか※4。
39	d_skill_128	Q2X6.4④配膳される順番に気をつけているか※4。
40	d_skill_129	Q2X6.5⑤本人の動作を待ち、声かけは少なくして静かに見守っているか※5。
41	d_skill_131	Q2X7.2②聞き慣れた「食事の始まり」の言葉※1 を強調して伝えているか。
42	d_skill_133	Q2X7.4④食事中は何を食べているかを伝えながら※3、食べられないもの(バラン・骨など)を取り除いたりして、食事を勧めているか。
43	d_skill_134	Q2X7.5⑤箸などが使いこなせているかを確認したり、同じ器の物ばかり食べている時は別の器を勧めているか。
44	d_skill_135	Q2X7.6⑥口腔内に詰め込み過ぎないかを確認したり、飲み込みはできているかを確認したり、噛むこと、飲み込むことなどを伝えたりしているか。
45	d_skill_136	Q2X7.7⑦一口量の調整を促したり、食べこぼしをさりげなく拭きとったりなど、様々なことに着目し、それぞれ確認しながら見守りをしているか。
46	d_skill_137	Q2X7.8⑧動作が止まった時には、もう一度食べる動作を促したり、「ごっくん」と飲み込む言葉を伝えたり、④～⑦のことが関係しているかを考えてもう一度確認をしているか。
47	d_skill_138	Q2X7.9⑨集中力持続のため、あえて声はかけない選択をしたり、繰り返し、同じ言葉※4 で食べることに集中できるように声をかけたりしているか。

48	d_skill_140	Q2X8.2②口腔内に食べ物が残っていないか確認しているか。
49	d_skill_141	Q2X8.3③食事を終えたことを伝え、感想(おいしかったなど)や満腹に感じているかなど認識や感覚を確かめているか。
50	d_skill_142	Q2X8.4④自分で下膳ができるように工夫※1をしているか。
51	d_skill_143	Q2X8.5⑤食後の体調変化などを確認する声をかけているか※2。
52	d_skill_144	Q2X8.6⑥食事が終了後から話を展開し、これからのことへの意見や回答を求めたり※3、その話をすることで食事の終わりであることの認識に働きかけているか。
53	d_skill_149	Q2X9.5⑤歯磨きという言葉は使わないで誘導したり※2、あるいは現物をみてもらい※3、理解を促しているか。
54	d_skill_152	Q2X9.8⑧一つひとつの行動を声をかけて促したりし、また、これからの行動を呼び掛けたり、紙に書いて読んでもらったりして自分で気づく工夫※6をしているか。
55	d_skill_157	Q3X1.1①体調や排泄に関する薬の情報などを確認しているか。
56	d_skill_158	Q3X1.2②最近の排泄パターンを確認しているか。
57	d_skill_159	Q3X1.3③排泄パターンにとらわれず、我慢している様子や落ち着かない様子などに気づき、声をかけているか※1。
58	d_skill_160	Q3X1.4④緊張感を持たせないような話※2をしたり、徐々に関わるようにする※3などの対応をしているか。
59	d_skill_163	Q3X2.3③トイレが空いていることを確認して、必要な物品(バットなど)も準備した上で、意識しやすいような声かけ※1をしているか。
60	d_skill_166	Q3X3.2②掲示してある表現を本人に確認してもらいながら※2、声をかけて※3誘導しているか。
61	d_skill_176	Q3X5.4④わからなくなることで混乱させないように、トイレに手順の張り紙をしたり工夫※2をしながら、自分でできるように支援しているか。
62	d_skill_181	Q3X7.2②洋式であれば、「便器のふたを開けたりすること、身体の向きを変えなければいけないこと」を伝えて、できるところは自分でしてもらっているか。
63	d_skill_200	Q3X11.2②衣類を自分で上げて、できにくい部分だけを手伝うことを伝えて了解をもらっているか。
64	d_skill_208	Q3X13.1①排泄後の様子、バイタルなどに変化がないか確認しているか。
65	d_skill_212	Q3X14.3③次の排泄に向けての声かけ※3をしているか。
66	d_skill_213	Q3X14.4④自力歩行や自走の人でも、排泄直後に血圧の変動などの変化があることを知り、適切な移動手段を選んでいるか。
67	d_skill_225	Q4X2.4④準備している間もこれから何をするのかを説明したりして、目的を伝えているか。



表 9 複数相関ありのうち残った項目(50 項目)

1	d_skill_7	Q1X2.3③着替えの選択を頼んだり、好みを確認したりしているか。
2	d_skill_13	Q1X4.1①移動がうまくいかない場合、時間をおいて再度誘導したり、対応する職員を替えて誘導しているか。
3	d_skill_22	Q1X6.1①室温や湯温を温度計などで確認しているか。
4	d_skill_25	Q1X6.4④利用者が不安定にならないよう配慮し※2、浴室の環境を整えているか。
5	d_skill_31	Q1X8.1①できにくいところを手伝うことを伝えているか。
6	d_skill_38	Q1X10.3③今までの習慣※1 に合わせた準備となっているか。
7	d_skill_49	Q1X12.2②洗う順序※1 を伝えているか。
8	d_skill_51	Q1X12.4④次の動作※2 を細かく伝えているか。
9	d_skill_58	Q1X13.4④入る前に自分でお湯の温度を確かめるように促しているか。入るときは手すりを先に握ってもらっているか。
10	d_skill_71	Q1X15.4④強弱の調整をしているか。短時間で終了しているか。
11	d_skill_75	Q1X16.2②タオルを手渡しているか。
12	d_skill_79	Q1X16.6⑥浴室内でタオルを手渡し露出を少なくし、身体を覆いながら拭いているか。
13	d_skill_80	Q1X16.7⑦本人がうまく拭けない場合は、本人にも拭いてもらいながら、手伝いの声かけ※2 をしてから、別のタオルで手早く拭いているか(本人のタオルを取り上げない)。
14	d_skill_93	Q1X18.3③水分補給について※2 伝えているか。
15	d_skill_94	Q1X18.4④次の行動の予告※3 をしているか。
16	d_skill_97	Q1X18.7⑦利用者の状態に応じた対応をしているか※5。
17	d_skill_100	Q1X19.3③いつもと違う状態の気づきなどを記録、報告しているか。
18	d_skill_104	Q2X1.3③時間と共に※1 伝えているか。
19	d_skill_105	Q2X1.4④食事に気持ちを向けるような具体的な声かけ※2 をしているか。
20	d_skill_114	Q2X3.3③本人に食事のことを具体的に伝えたり※2、行き先がわかりやすく伝えられ、移動を促しているか。
21	d_skill_115	Q2X3.4④利用者の状態に合わせ、手招きや文字に書いて移動を促したり、動作の順を追うような声かけなどして、動作を一つずつ乗り越えるよう工夫しながら誘導しているか。
22	d_skill_123	Q2X5.4④着席から配膳されるまでの時間、気持ちがそれたり、集中力が途切れないようにしているか※3。
23	d_skill_150	Q2X9.6⑥洗面所でも一つずつの動作を伝えて※4、自分でできるようにしているか。
24	d_skill_155	Q2X10.3③いつもと違う状態の気づきなどを記録、報告しているか。
25	d_skill_164	Q3X2.4④利用者の状態に合わせ、“トイレという言葉を使わない選択”と、“言葉で伝える選択”の両方を使い分けているか。
26	d_skill_167	Q3X3.3③本人にトイレの意識をさせないようにしながら、さり気ない様子で声かけをするなどの工夫※4 をしているか。

27	d_skill_171	Q3X4.3③移動がうまくいかない場合、「トイレ」などの言葉を使わず、手招きで移動を促したり、絵やマークなどを一緒に探す等、再度促しているか。
28	d_skill_173	Q3X5.1①トイレの仕組み(鍵の開閉、照明のスイッチ、水を流すレバー、トイレトペーパーの位置など)を伝えているか。
29	d_skill_182	Q3X7.3③恐怖心や安全確保に配慮した対応※1をしているか。
30	d_skill_186	Q3X8.3③長時間になった場合の重心のブレや立ち上がる時の支えなどを行っているか。
31	d_skill_187	Q3X8.4④外で待っている場合は、声をかけて※1 確認しているか。
32	d_skill_189	Q3X9.2②衣類を自分で下げて、できにくい部分だけを手伝うことを伝えて、了解をもらっているか。
33	d_skill_193	Q3X10.2②清拭を自分で行き、できにくい部分だけ手伝うことを伝えて、了解をもらっているか。
34	d_skill_194	Q3X10.3③自分で行う場合、ペーパーの設置場所を伝えて自分で切ってもらうか、適切な長さのペーパーを手渡しているか。
35	d_skill_196	Q3X10.5⑤自分でしてもらうようにするか、介助者が行うか※1 を負担を考えて判断しているか。
36	d_skill_205	Q3X12.3③蛇口や石鹸、手拭きタオルなどを説明しながら、手洗いの動作を一つずつ、自分でしてもらえるように促しているか。
37	d_skill_206	Q3X12.4④手洗いの前に驚かないように声をかけているか※1。
38	d_skill_209	Q3X13.2②排泄が終わったことを伝え、体調などについて聞いているか。
39	d_skill_216	Q3X15.3③いつもと違う状態の気づきなどを記録、報告しているか。
40	d_skill_219	Q4X1.2②興味や関心のあることを事前に本人に聞くなどしているか。
41	d_skill_221	Q4X1.4④興味や関心のあることにとらわれず、様々な活動の準備も同時にしているか。
42	d_skill_222	Q4X2.1①活動に利用する道具などを準備しているか。
43	d_skill_223	Q4X2.2②活動に必要な道具などは何かを、本人と一緒に話したり考えたりしているか。
44	d_skill_233	Q4X4.4④本人が自分で気付いたり、行動を起こせるような工夫※4 をしているか。
45	d_skill_237	Q4X5.4④準備されたことをするだけではなく、本人が自分の力で考える時間が持てるような声かけ※2 をしているか。
46	d_skill_243	Q4X7.2②周囲の様子を具体的に伝えているか※1。
47	d_skill_245	Q4X7.4④本人同士での会話に気付いたら、間に入るような声かけは控えて本人同士に任せているか。
48	d_skill_249	Q4X8.4④活動について振り返りを行っているか※3。
49	d_skill_250	Q4X9.1①使われた物品などを、一緒に片づけているか。

表 10 認知症に係わるステージ 3 群別介護技術の通過率(順序性のあった 59 項目)

			DASC_SCORE		
			60 点未満	60 点以上 70 点未満	70 点以上
1	d_skill_187	Q3X8.4④外で待っている場合は、声をかけて※1 確認しているか。	100	78.6	60.0
2	d_skill_93	Q1X18.3③水分補給について※2 伝えているか。	100	75.0	71.4
3	d_skill_16	Q1X5.1①待機時に声かけをしているか。	100	72.4	40.0
4	d_skill_181	Q3X7.2②洋式であれば、「便器のふたを開けたりすること、身体の向きを変えなければいけないこと」を伝えて、できるところは自分でしてもらっているか。	100	69.6	37.5
5	d_skill_60	Q1X13.6⑥浴槽の湯の高さをあらかじめ本人に合わせて調整しているか。本人の入りを優先しているか※1	100	68.4	66.7
6	d_skill_189	Q3X9.2②衣類を自分で下げて、できにくい部分だけを手伝うことを伝えて、了解をもらっているか。	100	62.5	50.0
7	d_skill_21	Q1X5.6⑥途中で何をしているのわからなくなったときには、適切な声かけ※2 ができているか。	100	54.5	45.0
8	d_skill_182	Q3X7.3③恐怖心や安全確保に配慮した対応※1 をしているか。	92.3	67.7	64.7
9	d_skill_114	Q2X3.3③本人に食事のことを具体的に伝えたり※2、行き先がわかりやすく伝えられ、移動を促しているか。	91.7	63.3	40.0
10	d_skill_225	Q4X2.4④準備している間もこれから何をするのかを説明したりして、目的を伝えているか。	91.7	26.1	8.3
11	d_skill_27	Q1X7.2②「脱健着患」を意識して対応しているか。	90.9	83.9	61.1
12	d_skill_65	Q1X14.4④時間の予告※1 をして、時間になれば声をかけてあがってもらっているか。	90.0	75.0	61.1
13	d_skill_158	Q3X1.2②最近の排泄パターンを確認しているか。	89.5	68.4	58.3
14	d_skill_58	Q1X13.4④入る前に自分でお湯の温度を確かめるように促しているか。入るときは手すりを先に握ってもらっているか。	88.9	82.6	63.6
15	d_skill_194	Q3X10.3③自分で行う場合、ペーパーの設置場所を伝えて自分で切ってもらうか、適切な長さのペーパーを手渡しているか。	88.9	69.6	50.0
16	d_skill_97	Q1X18.7⑦利用者の状態に応じた対応をしているか※5。	86.7	68.6	50.0
17	d_skill_129	Q2X6.5⑤本人の動作を待ち、声かけは少なくして静かに見守っているか※5。	86.7	68.6	44.4
18	d_skill_25	Q1X6.4④利用者が不安定にならないよう配慮し※2、浴室の環境を整えているか。	85.7	73.3	57.9

19	d_skill_164	Q3X2.4④利用者の状態に合わせ、“トイレという言葉を使わない選択”と、“言葉で伝える選択”の両方を使い分けているか。	85.7	63.0	58.8
20	d_skill_42	Q1X10.7⑦タオルを直接渡して次の動作へつなぐ言葉※4も添えているか。	85.7	60.6	57.1
21	d_skill_45	Q1X11.3③シャワーの温度調整をしたあとに自分で確認してもらうように促しているか。蛇口の場所や温度調整の仕方を説明しているか。	85.7	60.0	50.0
22	d_skill_63	Q1X14.2②湯温の調整(ぬるめたり、熱くしたり)ができることを伝えながら行っているか。	83.3	79.4	65.0
23	d_skill_166	Q3X3.2②掲示してある表現を本人に確認してもらいながら※2、声をかけて※3 誘導しているか。	83.3	67.7	61.5
24	d_skill_131	Q2X7.2②聞き慣れた「食事の始まり」の言葉※1 を強調して伝えているか。	83.3	64.7	60.0
25	d_skill_193	Q3X10.2②清拭を自分で行き、できにくい部分だけ手伝うことを伝えて、了解をもらっているか。	81.8	73.3	63.6
26	d_skill_133	Q2X7.4④食事中は何を食べているかを伝えながら※3、食べられないもの(バラン・骨など)を取り除いたりして、食事を勧めているか。	81.8	66.7	45.0
27	d_skill_138	Q2X7.9⑨集中力持続のため、あえて声はかけない選択をしたり、繰り返し、同じ言葉※4 で食べることに集中できるように声をかけたりしているか。	81.8	59.4	55.0
28	d_skill_79	Q1X16.6⑥浴室内でタオルを手渡し露出を少なくし、身体を覆いながら拭いているか。	81.3	58.3	44.4
29	d_skill_80	Q1X16.7⑦本人がうまく拭けない場合は、本人にも拭いてもらいながら、手伝いの声かけ※2 をしてから、別のタオルで手早く拭いているか(本人のタオルを取り上げない)。	80.0	64.7	27.3
30	d_skill_66	Q1X14.5⑤浴槽に入って予定時間が過ぎたことを伝えて、自分であがることを意識し、決められるように声をかけているか。	80.0	51.9	46.2
31	d_skill_100	Q1X19.3③いつもと違う状態の気づきなどを記録、報告しているか。	80.0	47.1	44.4
32	d_skill_20	Q1X5.5⑤利用者の行動が止まらないような、わかりやすい声かけ※1 をしているか。	78.6	50.0	36.8
33	d_skill_51	Q1X12.4④次の動作※2 を細かく伝えているか。	76.9	40.0	30.0
34	d_skill_171	Q3X4.3③移動がうまくいかない場合、「トイレ」などの言葉を使わず、手招きで移動を促したり、絵やマークなどを一緒に探す等、再度促しているか。	75.0	70.8	33.3

35	d_skill_157	Q3X1.1①体調や排泄に関する薬の情報などを確認しているか。	75.0	62.2	60.9
36	d_skill_141	Q2X8.3③食事を終えたことを伝え、感想(おいしかったなど)や満腹に感じているかなど認識や感覚を確かめているか。	73.3	61.1	40.0
37	d_skill_155	Q2X10.3③いつもと違う状態の気づきなどを記録、報告しているか。	73.3	54.3	47.4
38	d_skill_205	Q3X12.3③蛇口や石鹸、手拭きタオルなどを説明しながら、手洗いの動作を一つずつ、自分でしてもらえるように促しているか。	72.7	62.5	57.1
39	d_skill_19	Q1X5.4④利用者の状態などを、他の職員に的確に伝えているか。	71.4	41.2	33.3
40	d_skill_206	Q3X12.4④手洗いの前に驚かないように声をかけているか※1。	70.0	50.0	41.2
41	d_skill_109	Q2X2.2②本人に、「体調の変調の有無」や「食事は食べられるか否か」などを確認しているか。	68.8	62.2	44.4
42	d_skill_167	Q3X3.3③本人にトイレの意識をさせないようにしながら、さり気ない様子で声かけをするなどの工夫※4をしているか。	66.7	53.6	26.7
43	d_skill_107	Q2X1.6⑥本人の不安を軽減するような声かけをしているか※4。	66.7	53.1	45.0
44	d_skill_115	Q2X3.4④利用者の状態に合わせ、手招きや文字に書いて移動を促したり、動作の順を追うような声かけなどして、動作を一つずつ乗り越えるよう工夫しながら誘導しているか。	66.7	50.0	7.7
45	d_skill_212	Q3X14.3③次の排泄に向けての声かけ※3をしているか。	66.7	35.3	33.3
46	d_skill_52	Q1X12.5⑤強弱のコントロールができるような声かけ※3をしているか。	66.7	25.7	14.3
47	d_skill_209	Q3X13.2②排泄が終わったことを伝え、体調などについて聞いているか。	64.7	45.5	40.0
48	d_skill_73	Q1X15.6⑥自分でも頭を洗うように声をかけ促しているか。耳栓を使うなどで恐怖心を和らげる工夫をしているか。	63.6	44.8	23.1
49	d_skill_53	Q1X12.6⑥洗身ができにくそうであれば、本人の手に介助者が手を添えながらと一緒に洗い※4、1人でできるようになれば手を添えることをやめているか。この繰り返しができているか。	63.6	38.7	14.3
50	d_skill_38	Q1X10.3③今までの習慣※1に合わせた準備となっているか。	63.6	22.7	0.0
51	d_skill_208	Q3X13.1①排泄後の様子、バイタルなどに変化がないか確認しているか。	62.5	47.1	26.7
52	d_skill_4	Q1X1.4④本人が入浴の見当をつけられるような生活の中の事柄と結びつけた声かけ※2や工夫※3を行っているか。	58.3	54.8	20.0
53	d_skill_123	Q2X5.4④着席から配膳されるまでの時間、気持ちがそれたり、集中力が途切れないようにしているか※3。	58.3	46.7	22.2
54	d_skill_7	Q1X2.3③着替えの選択を頼んだり、好みを確認したりしているか。	58.3	41.4	14.3

55	d_skill_250	Q4X9.1①使われた物品などを、一緒に片づけているか。	50.0	30.8	25.0
56	d_skill_233	Q4X4.4④本人が自分で気付いたり、行動を起こせるような工夫※4をしているか。	50.0	17.2	0.0
57	d_skill_143	Q2X8.5⑤食後の体調変化などを確認する声をかけているか※2。	46.2	45.5	42.9
58	d_skill_257	Q4X10.4④具体的な事柄を記入し、それに対して考えられることまで記入しているか。	41.7	29.6	14.3
59	d_skill_237	Q4X5.4④準備されたことをするだけでなく、本人が自分の力で考える時間が持てるような声かけ※2をしているか。	27.3	26.9	14.3

表 11 認知症に係わるステージ 3 群別介護技術の通過率の検定結果(有意差のあった 30 項目)

			カイ 2 乗	自由度	P 値	
1	d_skill_4	Q1X1.4④本人が入浴の見当をつけられるような生活の中の事柄と結びつけた声かけ※2 や工夫※3 を行っているか。	11.842	2	0.00	**
2	d_skill_7	Q1X2.3③着替えの選択を頼んだり、好みを確認したりしているか。	14.164	2	0.00	**
3	d_skill_16	Q1X5.1①待機時に声かけをしているか。	11.473	2	0.00	**
4	d_skill_20	Q1X5.5⑤利用者の行動が止まらないような、わかりやすい声かけ※1 をしているか。	6.158	2	0.05	*
5	d_skill_21	Q1X5.6⑥途中で何をしているのかわからなくなったときには、適切な声かけ※2 ができているか。	9.820	2	0.01	**
6	d_skill_38	Q1X10.3③今までの習慣※1 に合わせた準備となっているか。	11.307	2	0.00	**
7	d_skill_45	Q1X11.3③シャワーの温度調整をしたあとに自分で確認してもらうように促しているか。蛇口の場所や温度調整の仕方を説明しているか。	10.523	2	0.01	**
8	d_skill_51	Q1X12.4④次の動作※2 を細かく伝えているか。	15.670	2	0.00	**
9	d_skill_52	Q1X12.5⑤強弱のコントロールができるような声かけ※3 をしているか。	9.996	2	0.01	**
10	d_skill_53	Q1X12.6⑥洗身ができにくそうであれば、本人の手に介助者が手を添えながらと一緒に洗い※4、1人でできるようになれば手を添えることをやめているか。この繰り返しができているか。	16.397	2	0.00	**
11	d_skill_60	Q1X13.6⑥浴槽の湯の高さをあらかじめ本人に合わせて調整しているか。本人の入り方を優先しているか※1	6.152	2	0.05	*
12	d_skill_66	Q1X14.5⑤浴槽に入って予定時間が過ぎたことを伝えて、自分であがることを意識し、決められるように声をかけているか。	7.690	2	0.02	*
13	d_skill_79	Q1X16.6⑥浴室内でタオルを手渡し露出を少なくし、身体を覆いながら拭いているか。	7.325	2	0.03	*
14	d_skill_80	Q1X16.7⑦本人がうまく拭けない場合は、本人にも拭いてもらいながら、手伝いの声かけ※2 をしてから、別のタオルで手早く拭いているか(本人のタオルを取り上げない)。	15.618	2	0.00	**
15	d_skill_93	Q1X18.3③水分補給について※2 伝えているか。	8.485	2	0.01	*
16	d_skill_109	Q2X2.2②本人に、「体調の変調の有無」や「食事は食べられるか否か」などを確認しているか。	7.360	2	0.03	*
17	d_skill_114	Q2X3.3③本人に食事のことを具体的に伝えたり※2、行き先がわかりやすく伝えられ、移動を促しているか。	8.656	2	0.01	*

18	d_skill_115	Q2X3.4④利用者の状態に合わせ、手招きや文字に書いて移動を促したり、動作の順を追うような声かけなどして、動作を一つずつ乗り越えるよう工夫しながら誘導しているか。	7.231	2	0.03	*
19	d_skill_129	Q2X6.5⑤本人の動作を待ち、声かけは少なくして静かに見守っているか※5。	8.009	2	0.02	*
20	d_skill_131	Q2X7.2②聞き慣れた「食事の始まり」の言葉※1を強調して伝えているか。	7.399	2	0.02	*
21	d_skill_143	Q2X8.5⑤食後の体調変化などを確認する声をかけているか※2。	15.630	2	0.00	**
22	d_skill_171	Q3X4.3③移動がうまくいかない場合、「トイレ」などの言葉を使わず、手招きで移動を促したり、絵やマークなどを一緒に探す等、再度促しているか。	7.651	2	0.02	*
23	d_skill_181	Q3X7.2②洋式であれば、「便器のふたを開けたりすること、身体の向きを変えなければいけないこと」を伝えて、できるところは自分でしてもらっているか。	18.658	2	0.00	**
24	d_skill_187	Q3X8.4④外で待っている場合は、声をかけて※1確認しているか。	8.646	2	0.01	*
25	d_skill_189	Q3X9.2②衣類を自分で下げて、できにくい部分だけを手伝うことを伝えて、了解をもらっているか。	13.651	2	0.00	**
26	d_skill_193	Q3X10.2②清拭を自分で行き、できにくい部分だけ手伝うことを伝えて、了解をもらっているか。	6.259	2	0.04	*
27	d_skill_194	Q3X10.3③自分で行う場合、ペーパーの設置場所を伝えて自分で切ってもらうか、適切な長さのペーパーを手渡しているか。	8.045	2	0.02	*
28	d_skill_212	Q3X14.3③次の排泄に向けての声かけ※3をしているか。	8.517	2	0.01	*
29	d_skill_225	Q4X2.4④準備している間もこれから何をするのかを説明したりして、目的を伝えているか。	19.179	2	0.00	**
30	d_skill_233	Q4X4.4④本人が自分で気付いたり、行動を起こせるような工夫※4をしているか。	10.761	2	0.00	**



表 12 認知症の介護技術評価の通過率、未実施率、相関係数の分析結果および認知症の生活機能障害と関連があった30項目

小項目		項目	チェック項目の内容
入浴	Q1X1.4	④本人が入浴の見当をつけられるような生活の中の事柄と結びつけた声かけ※2や工夫※3を行っているか。	
入浴	Q1X2.3	③着替えの洗濯を頼んだり、好みを確認したりしているか。	
入浴	Q1X5.1	①待機時に声かけをしているか。	
入浴	Q1X5.5	⑤利用者の行動が止まらないような、わかりやすい声かけ※1をしているか。	
入浴	Q1X5.6	⑥途中で何をしているのかわからなくなったりときには、適切な声かけ※2ができています。	
入浴	Q1X10.3	③今までの習慣※1に合わせた準備となっているか。	
入浴	Q1X11.3	③シャワーの温度調整をしたあとに自分で確認してもらおうように促しているか。蛇口の場所や温度調整の仕方を説明しているか。	
入浴	Q1X12.4	④次の動作※2を細かく伝えているか。	
入浴	Q1X12.5	⑤強弱のコントロールができるような声かけ※3をしているか。	
入浴	Q1X12.6	⑥洗身ができていくとそうであるか、本人の手に介助者が手を添えながらと一緒に洗い※4、1人でできるよにならば手を添えることをやめているか。	
入浴	Q1X13.6	⑥浴槽の湯の高さをあらかじめ本人に合わせて調整しているか。本人の入り方を優先しているか※1	
入浴	Q1X14.5	⑤浴槽に入ってから予定時間が過ぎたことを伝えて、自分であがることを意識し、決められるように声をかけているか。	
入浴	Q1X16.6	⑥浴室内でタオルを手渡し露出を少なくし、身体を覆いながら拭いているか。	
入浴	Q1X16.7	⑦本人がうまく拭けない場合は、本人にも拭いてもらいながら、手伝いの声かけ※2をしてから、別のタオルで手早く拭いているか（本人のタオルを取り上げない）。	
入浴	Q1X18.3	③水分補給について※2伝えているか。	
食事	Q2X2.2	②本人に、「体調の変調の有無」や「食事は食べられるか否か」などを確認しているか。	
食事	Q2X3.3	③本人に食事のことを具体的に伝えたり※2、行き先がわかりやすく伝えられ、移動を促しているか。	
食事	Q2X3.4	④利用者の状態に合わせ、手招きや文字に書いて移動を促したり、動作の順を追うような声かけなどして、動作を一つずつ乗り越えるよう工夫しながら誘導しているか。	
食事	Q2X6.5	⑤本人の動作を待ち、声かけは少なくして静かに見守っているか※5。	
食事	Q2X7.2	②聞き慣れた「食事の始まり」の言葉※1を強調して伝えているか。	
食事	Q2X8.5	⑤食後の体調変化などを確認する声をかけているか※2。	
排泄	Q3X4.3	③移動がうまくいかない場合、「トイレ」などの言葉を使わず、手招きで移動を促したり、絵やマークなどを一緒に探す等、再度促しているか。	
排泄	Q3X7.2	②洋式であれば、「便器のふたを開けたりすること、身体の向きを変えなければいけないこと」を伝えて、できるところは自分でしてもらっているか。	
排泄	Q3X8.4	④外で待っている場合は、声をかけて※1確認しているか。	
排泄	Q3X9.2	②衣類を自分で下げて、できにくい部分だけを手伝うことを伝えて、了解をもらっているか。	
排泄	Q3X10.2	②清拭を自分で行い、できにくい部分だけ手伝うことを伝えて、了解をもらっているか。	
排泄	Q3X10.3	③自分で行う場合、ペーパーの設置場所を伝えて自分で切ってもらえるか、適切な長さのペーパーを手渡ししているか。	
排泄	Q3X14.3	③次の排泄に向けての声かけ※3をしているか。	
活動	Q4X2.4	④準備している間もこれから何をするのかを説明したりして、目的を伝えているか。	
活動	Q4X4.4	④本人が自分で気付いたり、行動を起こせるよう工夫※4をしているか。	

表 13 分析の結果抽出された認知症介護技術 30 項目とすでにキャリア段位制度活用されている  
基本介護技術 62 項目と関連性が低かった項目

小項目		項目	チェック項目の内容
入浴	Q1X2.3	③着替えの洗濯を頼んだり、好みを確認したりしているか。	
入浴	Q1X13.6	⑥浴槽の湯の高さをあらかじめ本人に合わせて調整しているか。本人の入り方を優先しているか※1	
入浴	Q1X14.5	⑤浴槽に入って予定時間が過ぎたことを伝えて、自分であるかを意識し、決められるように声をかけているか。	
入浴	Q1X16.7	⑦本人がうまく拭けない場合は、本人にも拭いてもらいながら、手伝いの声かけ※2をしてから、別のタオルで手早く拭いているか（本人のタオルを取り上げない）。	
食事	Q2X2.2	②本人に、「体調の変調の有無」や「食事は食べられるか否か」などを確認しているか。	
排泄	Q3X14.3	③次の排泄に向けての声かけ※3をしているか。	
活動	Q4X2.4	④準備している間もこれから何をすることを説明したりして、目的を伝えているか。	
活動	Q4X4.4	④本人が自分で気付いたり、行動を起こさせようなど※4をしているか。	

表 14 分析データで基本介護技術 62 項目間において他の項目と一つ以上高い相関（0.7）が見られた項目

小項目		項目	チェック項目の内容
入浴	Q1X1.1	①バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴の可否について確認したか。	
入浴	Q1X1.2	②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。	
入浴	Q1X2.1	①体調や気候に配慮しながら、利用者の好みの洋服を選んでもらったか。	
入浴	Q1X2.2	②スクリーンやバスタオルを使い、プライバシーに配慮したか。	
入浴	Q1X2.3	③脱衣の際に、健側から患側の順番で行ったか。	
入浴	Q1X2.4	④ボタンの取り外し等、自力でできるところは自分で行うよう利用者に促したか。	
入浴	Q1X2.5	⑤しわやたるみがないか確認したか。	
入浴	Q1X3.1	①末梢から中枢の順番で洗い、陰部は健側の手で洗ってもらったか。	
入浴	Q1X3.2	②浴槽に入る時は、利用者に手すりや浴槽の縁をつかんでもらうとともに、バランスを崩さないよう身体を支え、入浴できたか。	
入浴	Q1X3.3	③簡易リフト等、入浴機器を用いて入浴した場合、利用者の身体の位置を確認し、手が挟まれる等の事故に注意して、安全に入浴できたか。	
入浴	Q1X3.4	④入浴後、体調の確認をし、十分な水分補給ができたか。	
入浴	Q1X4.1	①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング、医療職の指示によって体調確認を行い、清拭の可否について確認したか。	
入浴	Q1X4.2	②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。	
入浴	Q1X4.3	③末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。	
食事	Q2X1.1	①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。	
食事	Q2X1.2	②嚥下障害のある利用者の食事にとろみをつけたか。	
食事	Q2X1.3	③禁忌食の確認をしたか。	
食事	Q2X1.4	④飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。	

参考

データ分析ワーキング報告

## 介護技術評価項目のデータ分析による 妥当性の検証

認知症に係わる介護技術評価項目の追加と現行評価項目の削除の提案

---

### はじめに

- キャリア段位制度は、アセッサーが順調に養成されているものの、「評価に着手しない」、あるいは、「段位認定者の認定ができない」施設が存在している。この理由のうち、評価項目の多さが負担であるとの指摘もある。
- 制度開始から2年以上が経過し、これまでの事業実績や収集データの分析から評価項目を見直す必要がある。
- キャリア段位制度における評価は、第3者が客観的に観察できる介護者の具体的行動を評価するという視点にたっているが、利用者への接遇や配慮といった視点が重要であることが制度開始前の実証事業において指摘されてきた。

# 目的

- **実践キャリアアップ戦略介護キャリア段位制度の介護技術評価のフレームワークを活用し、開発された認知症者への配慮にかかわる介護技術評価項目を用いて、実施された試行評価データの分析を実施し、現行の項目との関連性を踏まえ、統計的にその妥当性の検討を行う。**



## 新規項目追加および現行評価項目の削除の提案

### 認知症に係わる介護技術評価項目について

- **H24年度より内閣府によって検討され始めた実践キャリアアップ戦略介護キャリア段位制度の介護技術評価のフレームワークを活用し、平成24年度に認知症に係わる介護技術評価項目を開発した。項目の詳細は別紙参照。**

※4つのカテゴリー「尊厳保持」、「要因探索」、「情報収集と理解」、「観察」に留意しつつ、キャリア段位の基本介護技術項目である「入浴介助」、「食事介助」、「排泄介助」に認知症特有な技術として、「活動」を加えて、4つの区分を選定し、これに係る介護技術の評価基準（チェック項目）を専門家によるワーキングチームを組織し、開発されている（ワーキング代表：筒井孝子）。

平成24年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）「認知症の人に関わる医療・介護従事者及び家族の共通理解を図るための支援方策や研修の実態把握についての調査研究事業報告書」平成25年3月ヴェクソンインターナショナル株式会社P57

## 認知症に係わる介護技術評価項目の構造

分野	チェック項目数	小項目数	ケア項目数
入浴介助	101	19	12
食事介助	55	10	5
排せつ介助	61	15	5
活動	40	10	4
計	257	54	26

この活動という小項目は、現行の評価項目にはないカテゴリであり、日中のアクティビティの実施にかかわる内容となっている。

平成24年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）「認知症の人に関わる医療・介護従事者及び家族の共通理解を図るための支援方策や研修の実態把握についての調査研究事業報告書」平成25年3月ヴェクソンインターナショナル株式会社P57

### 「できる(実践的スキル)」の評価基準の概要

事業者や評価者（アセッサー）ごとに評価がバラバラにならないよう、○×（できる・できない）で評価できる基準に基づいて、客観的な評価を実施。

大項目(3) → 中項目(13) → 小項目(41) → チェック項目(148)で構成

大項目	①基本介護技術の評価	②利用者視点での評価	③地域包括ケアシステム&リーダーシップ
中項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>入浴介助</li> <li>食事介助</li> <li>排泄介助</li> <li>移乗・移動・体位変換</li> <li>状況の変化に応じた対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者・家族とのコミュニケーション</li> <li>介護過程の展開</li> <li>感染症対策・衛生管理</li> <li>事故発生防止</li> <li>身体拘束廃止</li> <li>終末期ケア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアシステム</li> <li>リーダーシップ</li> </ul>

#### 【小項目→チェック項目の例】

- 食事介助ができる . . . . . 小項目
- ①食事の献立や中身を利用者に説明する等食欲がわくように声かけを行ったか。
  - ②利用者の食べたいものを聞きながら介助したか。
  - ③利用者と同じ目線の高さで介助し、しっかり咀嚼して飲み込んだことを確認してから次の食事を口に運んだか。
  - ④自力での摂食を促し、必要時に介助を行ったか。
  - ⑤食事の量や水分量の記録をしたか。

チェック項目

#### 【チェック項目の評価】

- A：できる
- B：できる場合とできない場合があり、指導を要する
- C：できない
- ：実施していない

# 通過率と未実施率

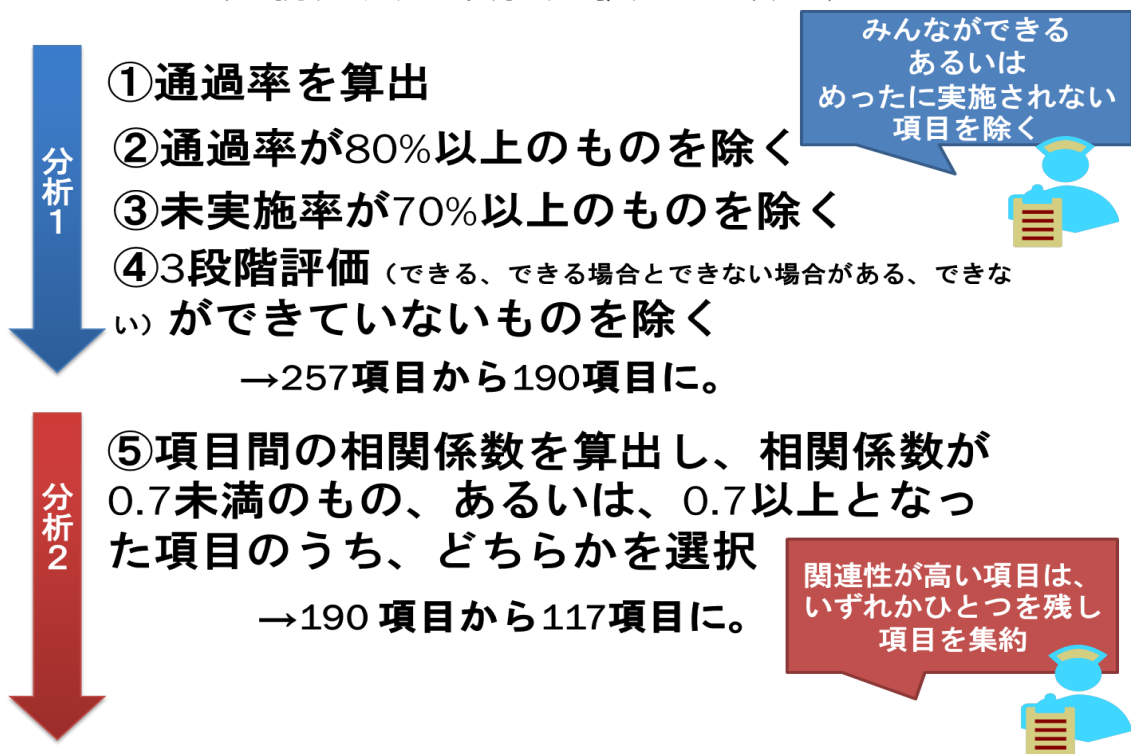
- 「通過率」：全被評価者を対象として、チェック項目毎に「A：できる」・「B：できる場合とできない場合があり、指導を要する」・「C：できない」がついた者のうち、「A」が付いた割合（これを「通過率」とする）を算出し、多くの被評価者が「できる」と評価されたチェック項目の割合を把握した。算定式は以下のようになる。

- 「通過率」  $[A]$ と評価した人数 /  $\{[A]+[B]+[C]\}$  (%)

- 「未実施率」：全被評価者を対象にして、チェック項目毎に「-（やっていない）」が付いた割合（未実施率）を算出し、期間中に評価することができなかったチェック項目の割合を把握した。算定式は以下のようになる。

- 「未実施率」  $[-]$ と評価した人数 /  $\{[A]+[B]+[C]+[-]\}$  (%)

## 分析方法：項目選択の手順1 / 3



## 分析方法：項目選択の手順2 / 3

分析3

⑥認知症のステージ別（DASCスコア高低別3群）の介護技術の通過率を算出し、認知症の（DASCスコア高低別3群）に実施率に順序性がなかった項目を削除

→117項目から59項目に。

⑦DASCスコア高低別の介護技術の通過率に統計的な有意差※が見られなかったものを除く

※ Kruskal-Wallis の検定を実施。

→59項目から30項目に。

認知症の生活機能障害の程度と関連性があるような項目を抽出。



DASC(Dementia Assessment Sheet in Community-based Integrated Care System:地域包括ケアシステムにおける認知症アセスメント)は、短時間に「認知機能障害」と「生活機能障害」を評価でき、認知症のご本人やご家族、認知症専門医等との「共通言語」として活用することが可能とされている（栗田2012）。

## 分析方法：項目選択の手順3 / 3

分析4

⑧残された30項目と基本介護技術62項目との相関係数を算出し、相関係数が0.4以上の項目削除

→30項目から8項目に。

キャリア段位制度への活用を考え、既存の項目と関連性の低い項目を抽出。



分析5

⑨基本介護技術62項目間の相関係数を算出し、相関係数が0.7以上の項目を抽出。

→62項目のうち18項目が抽出された。

認知症への配慮項目への追加を考え、すでに存在している類似の配慮の視点を含む基本介護技術の入浴、排せつ、食事、移乗・移動項目抽出



# 分析結果

## 認知症への配慮を含む257の介護技術評価項目のうち分析の結果、集約された30項目

小項目	項目	チェック項目の内容
入浴	Q1X1.4	④本人が入浴の見当をつけられるような生活の中の事柄と結びつけた声かけ※2や工夫※3を行っているか。
入浴	Q1X2.3	③着替えの洗濯を頼んだり、好みを確認したりしているか。
入浴	Q1X5.1	①待機時に声かけをしているか。
入浴	Q1X5.5	⑤利用者の行動が止まらないような、わかりやすい声かけ※1をしているか。
入浴	Q1X5.6	⑥途中で何をしているのわからなくなったときには、適切な声かけ※2ができているか。
入浴	Q1X10.3	③今までの習慣※1に合わせた準備となっているか。
入浴	Q1X11.3	③シャワーの温度調整をしたあとに自分で確認してもらうように促しているか。蛇口の場所や温度調整の仕方を説明しているか。
入浴	Q1X12.4	④次の動作※2を細かく伝えているか。
入浴	Q1X12.5	⑤強弱のコントロールができるような声かけ※3をしているか。
入浴	Q1X12.6	⑥洗身ができにくそうであれば、本人の手に介助者が手を添えながら一緒に洗い※4、1人でできるようになれば手を添えることをやめているか。この繰り返しができるか。
入浴	Q1X13.6	⑥浴槽の湯の高さをあらかじめ本人に合わせて調整しているか。本人の入り方を優先しているか※1
入浴	Q1X14.5	⑤浴槽に入って予定時間が過ぎたことを伝えて、自分であがることを意識し、決められるように声をかけているか。
入浴	Q1X16.6	⑥浴室内でタオルを手渡し露出を少なくし、身体を覆いながら拭いているか。
入浴	Q1X16.7	⑦本人がうまく拭けない場合は、本人にも拭いてもらいながら、手伝いの声かけ※2をしてから、別のタオルで手早く拭いているか（本人のタオルを取り上げない）。
入浴	Q1X18.3	③水分補給について※2伝えているか。
食事	Q2X2.2	②本人に、「体調の変調の有無」や「食事は食べられるか否か」などを確認しているか。
食事	Q2X3.3	③本人に食事のことを具体的に伝えたり※2、行き先がわかりやすく伝えられ、移動を促しているか。
食事	Q2X3.4	④利用者の状態に合わせ、手書きや文字に書いて移動を促したり、動作の順を追うような声かけなどして、動作を一つずつ乗り越えるよう工夫しながら誘導しているか。
食事	Q2X6.5	⑤本人の動作を待ち、声かけは少なくして静かに見守っているか※5。
食事	Q2X7.2	②聞き慣れた「食事の始まり」の言葉※1を強調して伝えているか。
食事	Q2X8.5	⑤食後の体調変化などを確認する声をかけているか※2。
排泄	Q3X4.3	③移動がうまくいかない場合、「トイレ」などの言葉を使わず、手書きで移動を促したり、絵やマークなどを一緒に探す等、再度促しているか。
排泄	Q3X7.2	②洋式であれば、「便器のふたを開けたりすること、身体の向きを変えなければいけないこと」を伝えて、できるところは自分でしてもらっているか。
排泄	Q3X8.4	④外で待っている場合は、声をかけて※1確認しているか。
排泄	Q3X9.2	②衣類を自分で下げて、できにくい部分だけを手伝うことを伝えて、了解をもらっているか。
排泄	Q3X10.2	②清拭を自分で行き、できにくい部分だけ手伝うことを伝えて、了解をもらっているか。
排泄	Q3X10.3	③自分で行う場合、ペーパーの設置場所を伝えて自分で切ってもらうか、適切な長さのペーパーを手渡ししているか。
排泄	Q3X14.3	③次の排泄に向けての声かけ※3をしているか。
活動	Q4X2.4	④準備している間もこれから何をするのかを説明したりして、目的を伝えているか。
活動	Q4X4.4	④本人が自分で気付いたり、行動を起こせるような工夫※4をしているか。



## 基本介護技術との相関が高いものを除いた 認知症介護技術項目8項目

小項目	項目	チェック項目の内容
入浴	Q1X2.3	③着替えの洗濯を頼んだり、好みを確認したりしているか。
入浴	Q1X13.6	⑥浴槽の湯の高さをあらかじめ本人に合わせて調整しているか。本人の入りを優先しているか※1
入浴	Q1X14.5	⑤浴槽に入って予定時間が過ぎたことを伝えて、自分であがることを意識し、決められるように声をかけているか。
入浴	Q1X16.7	⑦本人がうまく拭けない場合は、本人にも拭いてもらいながら、手伝いの声かけ※2をしてから、別のタオルで手早く拭いているか（本人のタオルを取り上げない）。
食事	Q2X2.2	②本人に、「体調の変調の有無」や「食事は食べられるか否か」などを確認しているか。
排泄	Q3X14.3	③次の排泄に向けての声かけ※3をしているか。
活動	Q4X2.4	④準備している間もこれから何をするのかを説明したりして、目的を伝えているか。
活動	Q4X4.4	④本人が自分で気付いたり、行動を起こせるような工夫※4をしているか。

これらの項目間は、認知症の生活機能障害を併別することができる可能性がある項目であり、かつ、現行の介護技術評価と別の視点での評価となっている項目と考えられた。

## 基本介護技術の入浴、排せつ、食事、移乗・移動の62項目 で他の項目と一つでも高い相関がみられた18項目

小項目	項目	チェック項目の内容
入浴	Q1X1.1	①バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴の可否について確認したか。
入浴	Q1X1.2	②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。
入浴	Q1X2.1	①体調や気候に配慮しながら、利用者の好みの洋服を選んでもらったか。
入浴	Q1X2.2	②スクリーンやバスタオルを使い、プライバシーに配慮したか。
入浴	Q1X2.3	③脱衣の際に、健側から患側の順番で行ったか。
入浴	Q1X2.4	④ボタンの取り外し等、自力でできるところは自分で行うよう利用者に促したか。
入浴	Q1X2.5	⑤しわやたるみがないか確認したか。
入浴	Q1X3.1	①末梢から中枢の順番で洗い、陰部は健側の手で洗ってもらったか。
入浴	Q1X3.2	②浴槽に入る時は、利用者に手すりや浴槽の縁をつかんでもらうとともに、バランスを崩さないよう身体を支え、入浴できたか。
入浴	Q1X3.3	③簡易リフト等、入浴機器を用いて入浴した場合、利用者の身体の位置を確認し、手が挟まれる等の事故に注意して、安全に入浴できたか。
入浴	Q1X3.4	④入浴後、体調の確認をし、十分な水分補給ができたか。
入浴	Q1X4.1	①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング、医療職の指示によって体調確認を行い、清拭の可否について確認したか。
入浴	Q1X4.2	②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。
入浴	Q1X4.3	③末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。
食事	Q2X1.1	①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。
食事	Q2X1.2	②嚥下障害のある利用者の食事にとろみをつけたか。
食事	Q2X1.3	③禁忌食の確認をしたか。
食事	Q2X1.4	④飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。

これらの項目間の関係性をみることで  
項目を減らせる可能性があるのではないか

## まとめ

- 分析の結果集約された30の評価項目は、認知症にかかわるケアユニットとして提案し、キャリア段位制度や認知症介護実践者研修に活用する。
- 現行のキャリア段位への活用を考えた場合、現行の評価項目との関連を踏まえ、独立性が担保された8項目を追加する。
- 一方で、キャリア段位制度の負担を軽減するためには、評価項目を減らすことも考えられることから、基本介護技術18項目を集約する。